

# 商店街の街路灯

## まちづくり

**重文** 「銅(あかがね)御殿」を守れなければ、「文の京」と呼ばれまい

シャッターの閉まった商店が増え、どこでも商店会は街路灯の電気代が悩みの種。本来の商店会事業にしわ寄せがくるのです。

林町商店会では、会が設置した街路灯を撤去し、区の土木課が新しい街路灯を設置することで、区が直接電気代を負担することになりました。

**東京都**も4月から既存街路灯にソーラーパネル(太陽電池)等を設置する費用の4/5を補助する「**新・元気だせ商店街事業**」を始めました。申請は5月10日まで。問い合わせは区経済課に。

窪町東公園から教育の森に上る湯立坂の左(小石川5丁目)に旧磯野邸の銅板拭きの屋根が見える。隣地に計画されたマンションの地下掘削の影響や45mのビル風はどれ程のものだろう。銅の屋根や庭、木の細工やベルギー製のガラスを破壊しないのか。未だ何の回答もされていない。

文化庁も文京区も、この文化財を守るために、動く気配は今のところない。

名工が7年の歳月をかけて造り上げた。それならば、みんなで7年かけても守り抜こう。



### 小石川植物園の堀リニューアル!

20年も前から東大に要望してきた植物園の万年堀が、ようやく生まれ変わる。

区議団と田村智子(参院予定)さん、小竹都議の申し入れが実を結んだ。部分的だが、東大「赤門」横のレンガ堀に似た、美しく、中が見えるものになる予定。

区議団と田村智子(参院予定)さん、小竹都議の申し入れが実を結んだ。部分的だが、東大「赤門」横のレンガ堀に似た、美しく、中が見えるものになる予定。

網干坂側の門も開けて欲しいと要望している。満開の桜や「ハンカチの木」等の見頃の季節だけでも、高齢者や障害者も楽しめるよう、ぜひ開けて欲しいものだ。



東大にて左から3人目がこうだ

2006 春号

# こうだ久美子の

日本共産党区議会議員



議員控室  
☎5803-1317 (FAX) 3811-3197  
http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/  
kouda@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

# 区議会レポート



文京区千石2-43-11  
☎3946-2218 (FAXも)

日本国憲法の完全実現——そんな社会を目指して力を尽くします。

## 格差拡大の社会へと牽引するもの ——その荒涼とした風景——

介護保険料、国民健康保険料の連続値上げ、障害者への「自立支援」という名の負担増など、もつとすれば、もつと出せとムチ打つような政治があります。区議会では「国保料の連続値上げは、生存権をも脅かすもの」という私の発言の後、ある議員から「もう福祉だなんて言う時代は終わった。これからは自己責任だ」という旨の発言がされ、議場がどよめきました。そこまで言うのか。構造改革という名の「新自由主義」の果ては、荒涼とした風景です。



窪町小学校の内覧会で

「格差拡大」という文字が、連日新聞・テレビ・週刊誌に躍っています。豊かな方が多いと言われる文京区で、就学援助を受ける児童・生徒は8年間で一・八倍に増え(中面参)、生活保護世帯は一・五倍の千二百八十八世帯へと増大しました。一九九七年をピークに九八年以降、国民全体の所得が連続的に減少する中で、貧困層が広がるという今の事態は、戦後初めての異常事態だといえます。こうした中で、庶民には大増税、高い

## 久美子の論陣 厚生委員会

### こうすれば介護保険料を引き下げられる

**文京区**の介護保険料は、基準額が23区中最高の月額4632円と決定。全国平均24%増を上回る39%増、年1万5700円もの大幅値上げです。

**渋谷区**は、保険料を9段階に分け、最高の1,500万以上の所得者は基準額(4225円)×2.25倍の負担。その分低所得者の保険料を引き下げています。

**千葉県浦安市**では、一般会計から1億6450万円介護保険会計に繰り入れ(06年)、4533円の基準額を750円余引き下げました。文京区も独自の軽減策を検討すべきと提案しました。

その中で評価できるのは、税制改定で新たに課税になった方や世帯(第4、第5段階)に、激変緩和措置がとられ、2年間保険料が軽減されることになった点です。区民意見や議会での提案が実ったものです。

どのようなご相談でも遠慮なく(とうぞ)ご連絡下さい

《私のケイタイ》  
☎090-8312-8408

《後援会白千会》  
☎3942-0233

介護、医療、保険証、くらし子育て、など何でも

法律相談は(要予約)  
毎月第3木曜日  
PM6:30~です

## どうして与党(自・公・新生)は反対するの?

- 子どもの医療費無料化条例
- 区議会議員の「報酬」引き下げ条例 他2件



入学したとたん、「ハイ、医療費いただきます」となるのが文京区。隣の台東・北・豊島区など23区中すでに18区で、小学生や中学生までの医療費無料化が進んでいます。今期定期区議会に共産党は市民・無所属議員と共同で、条例案と予算修正案を提出しました。

今回私が条例提案の責任者。「どうして文京区は子どもの医療費が無料じゃないんですか?」——子育て真っ最中のお母さん達から、期待と真剣な声が寄せられています。何としても安心できる子育てを実現したい。学齢前の乳幼児医療費無料化も粘り強い条例提案で、一步一步切り開いてきたものでした。最大でも年間1億8千万円あれば実現できるのです。

また議員の「報酬」引き下げの条例案は、区議会議員の期末手当の加算の廃止と、議会に出

た際の交通費(費用弁償と言う)を1日4千円から千円に改めるもので、年間4千万円削減できます。これは予算修正で提案した、「重度障害者の福祉タクシー券」拡充分、約4千万円に充当できる財源でした。条例案に反対し、実現を阻む与党の責任は重い。

